

2020年度 第2回 高大連携フォーラム 実施報告

オンラインにて「高大連携と ICT 教育～コロナ禍から Society5.0 時代を見据えた新しい教育への挑戦」をテーマにフォーラムを開催した。

日 時： 2021年3月5日（金）18：00～20：00

会 場： オンライン（ZOOM）にて

基調講演： 「アフターコロナ！ニューノーマル？」

講 師： 中村 伊知哉氏

（iU 情報経営イノベーション専門職大学 学長）

事例発表： 「iPad のある学校 2021～1 人 1 台端末時代の教育を考える～」

発表者： 乾 武司氏

（近畿大学附属高等学校 教育改革推進室長）

参加者数： 70 名

会員大学	19 名
会員大学外	20 名
その他	31 名（うち高校 22 名）
合計	70 名

プログラム： ①開会挨拶 大澤 茂男氏（大阪青山大学 副学長、高大連携部会推進委員会 委員長）

②基調講演 中村 伊知哉氏 <iU 情報経営イノベーション専門職大学 学長>（60 分）

③事例発表 乾 武司氏 <近畿大学附属高等学校 教育改革推進室長>（30 分）

④ Q&A（20 分）

司 会：井上 由貴子 <大阪女学院大学 アドミッションセンター センター長 >

コーディネーター：加藤 映子氏 <大阪女学院大学 学長 >

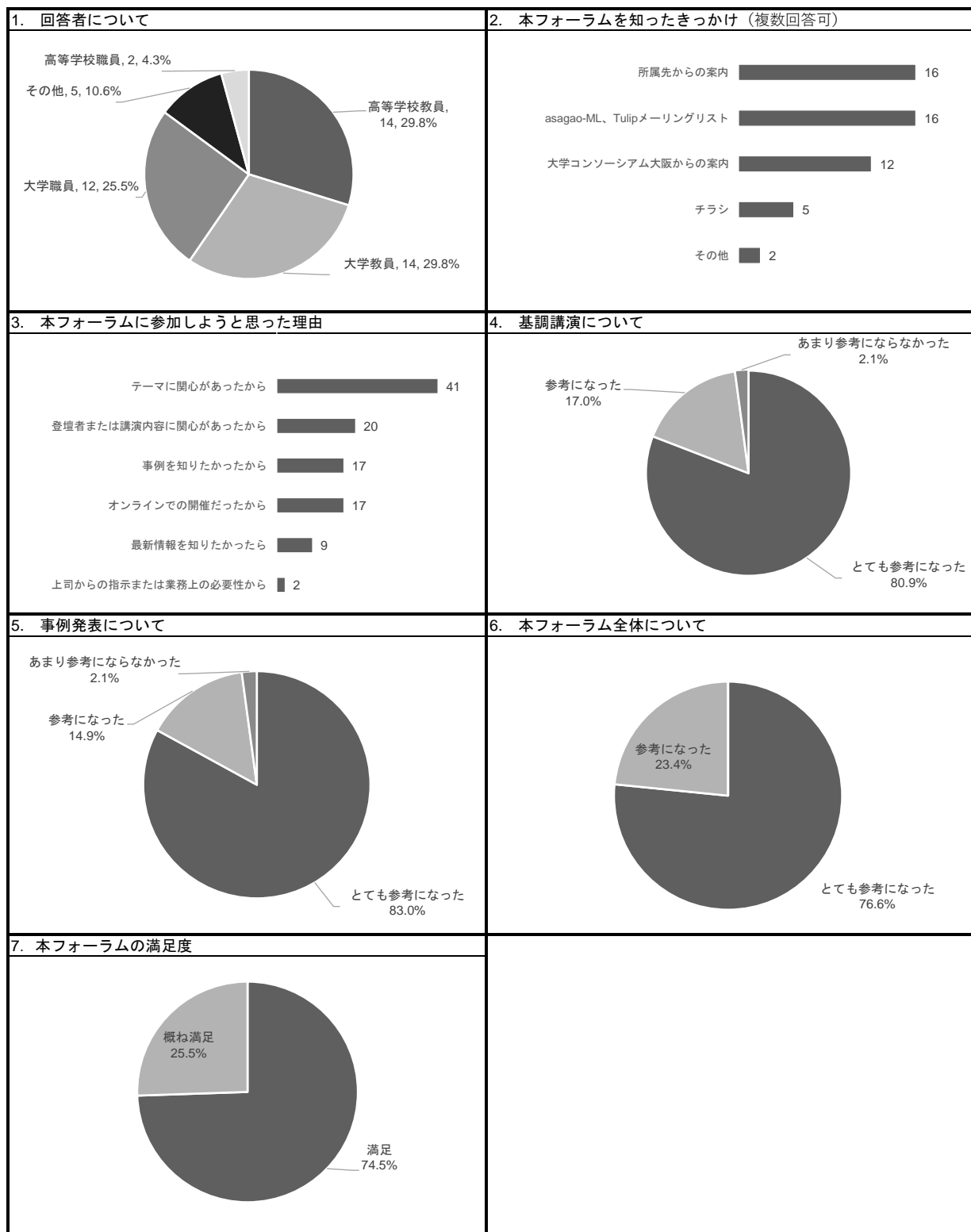
参加者アンケート結果：別紙のとおり

フォーラムの様子



◆2020年度 第2回 高大連携フォーラム 参加者アンケート結果◆

参加者78名 回答件数47件 回答率60.2%



8. 上記と回答した理由
〈満足〉
・教育のこれからを考えるに良い情報ばかりでした。
・最新の事例を知ることができた。
・ICTはツールでしかなく、それをどう使うかが重要であることが再認識できたから。
・今後、毎日登校しなければならない学校は、減っていくと思っているから。
・お二人の登壇者のお話が、とても参考になりました。誠にありがとうございました。
・日本や世界のいまの動向や将来の展望を踏まえての、教育や学校についての忌憚のない考えを聞くことができたから。
・発表内容
・現在、置かれている状況について、しっかりと認識ができたから。
・普段聞くことがないような話を聞くことができました。すぐ考えさせられる内容でした。先生方のご経験、考え方、行ってこられたことなど、興味深く聞くことができました。
・iUのコンセプトはとても興味深く、近大附属高の実践事例は噂に聞いていたとおり素晴らしく、海外の学校のように生徒が主体的に学びを進めるためのツールとしてiPadが有効的に用いられているのに感心しました。
・高校や他大学の先生方もすぐ頑張っておられることをお聞きして更にモチベーションが上がりました。コンソーシアム、凄く良かったです。
・基調講演が素晴らしかった。
・具体的事例を学びました。
・知りたいことの軸ができた2時間でした。あっという間でした。ありがとうございました。
・期待した情報が得られた。
・ICT、IoTの進歩に伴い、教育の手法や環境も積極的に変えて行かなければならないという意識を強く持つ事ができたから。
・新しい気づきにつながりました。
・予想以上に内容が深く豊かだった。
・登壇者の講演内容が、期待を超えて素晴らしいものだったから。
〈概ね満足〉
・事例発表が参考になりました。
・現状の取り組みや事例が分った点
・講演内容がおもしろく大変興味深く聞かせていただきました。芸術系の大学にとって考えさせられる内容でした。
・両事例ともICT活用で共通しているが、両事例どうしの連携・接続に関する視点が明瞭ではなかった。
9. 基調講演についての意見や感想
・地方の大学が生き残るためにはもっと柔軟に考えなければ生き残れないと思いました。
・新しい大学教育の姿を見せていただいた。
・専門職大学設置構想を現理事長に提案した身として、このような形で構想が結実したこと、中村先生のような方が学長になられたことで、大学教育におけるICT活用によるイノベーション人材育成が可能になったことを喜ばしく思いました。
・中村学長の大学に入学したいです。働きながら可能でしょうか？
・中村様の行動力を見習おうと思います。貴重なご講演、誠にありがとうございました。
・率直に、iUが非常におもしろいことをいろいろしていると感じました。日本は諸外国と比べて進んでいない部分もあり、デジタルに関しても進んでいる学校がある一方で、依然として従来型の授業にとどまっている学校も数多くあります。変化することで、成績が下がることを危惧している教員が私の学校にも多いです。ただ、変化しなければ、相対的に沈んでいく可能性も高いです。まずは何かをやってみて、どんな変化が起こるかを楽しむということが大事だということを今日のご講演を聴いて、改めて感じました。ありがとうございました。
・大変興味深い取り組みをされている。
・楽しいご講演をありがとうございました。自分も入学したくなるような魅力あふれる大学に感じました。自分の教育に何かエッセンスだけでも取り入れることができなにか検討していきたいです。
・すごく飛躍的なお話として聞かせていただきましたが、そういう捉え方自体が時代遅れなのかと認識させられました。良い気づきを与えていただいたと思います。本日はありがとうございました。
・中村学長が作りたと思う大学に入りたい学生は多くいて（私もそう思います）、教えたい・支援したいと思う企業や業界のプロは多くいらっしゃることを知り、「本当にクリエイティブなものには人は惹かれる」ことを実感しました。日本のクリエイティブ性を海外は評価しているのだから、もっと自信を持ってチャレンジを進めないといけないと思いました。
・先生のご活躍、ご意見はとても貴重な学びとなりました。人工知能AIは医療の面でもすでに凄く活躍していて、大学生の講義でもその事例を見せたりして刺激をしておりますが更なる改良を加えて行きたいと思っています。
・中村学長の圧倒的な見識と次世代の日本を見据えた取り組みに、パラダイムシフトの必要性を強く感じた講演でした。私は現在、高校のICT推進責任者をしており、来年度から1人1台iPadの利活用を進めていく立場にございます。自分自身もまだまだ学びながら、学校全体を、教師も生徒も楽しみながら変える役割を果たしていけるよう精進いたします。今日は貴重な学びと気づきをいただき、本当にありがとうございました。
・専門職大学についてのイメージができました。
・本日の内容(録画)をYouTubeなどネット上で公開して欲しい。同僚教員にも勧めたい。
・新しいスタイルでの取り組みが良く理解できた。
・超スマート社会がそう遠くない未来に訪れるというのは大変刺激的でした。教育システムが大きな転換点にきていると感じさせられました。
・今年の取り組みを来年度以降にも活かすお考えに賛同します。
・とても楽しく聴かせていただきました。
・営業のように思えた。明るい未来を思い描く力の強さを感じた反面、どこか気持ちの悪さを感じた。その原因として、強すぎる上昇志向や、経済・意欲の格差や貧困といった社会的課題への視点の欠落、目の前にいる生徒の実態や日常の校務・実生活との乖離等が考えられる。

<ul style="list-style-type: none"> 非常にユニークな取り組みだが、その気にさせられた。
<ul style="list-style-type: none"> これまで一般的なと思っていた高等教育の方法について、もっと多様性があるという事、ICTが発展している中で知識を覚えておく教育よりも、活用し社会問題を解決できる人材が求められる中で、本当に今までの教育手法や入試のあり方で良いのかを考えさせられました。私はメディカル教育に携わっていますが、医療分野においても、患者様をよくするために、いかに最先端の知識やエビデンスに基づいた治療を提供できるかが求められています。医学教育の現場においても、古典的な教育から脱却し、ICTを積極的に取り入れて、オンラインで学べることで、大学に登校しないと実施できないこと、臨床実習でしか実施できないことを明確にし、教育を再構築していくことの重要性を感じる事ができました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> 考え方の自由さに教えられました。
<ul style="list-style-type: none"> 幅広いご経験と深い知見に基づいた、遊び心あふれる取り組みに感銘を受けました。
10. 事例発表についての意見や感想
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の活き活きとした表情が印象的でした。
<ul style="list-style-type: none"> 大変参考になったとともに、わが校の遅れている現状に焦る気持ちでいっぱいである。
<ul style="list-style-type: none"> 高等学校教育におけるICT活用に負けぬ大学教育を実施しなければならないことを痛感しました。
<ul style="list-style-type: none"> 規制なしで使わせた乾先生のご苦労は、はかりしれないです。
<ul style="list-style-type: none"> 高校現場の学びをご紹介いただき大変参考になりました。
<ul style="list-style-type: none"> 乾先生のお話は以前にも他の場所で伺ったことがあります。改めて貴校でされている活動がおもしろそうだと感じました。いまでこそiPadを使いこなして授業等で活用されていると思いますが、導入当時はいろいろなお苦労があったことだと思います。そのようないきさつや、いまの利用法、考え方を我々他の教員に共有して下さることに感謝しています。個人的には私は高校化学の教員なので、共有結合の動画を生徒が作って発表したのはおもしろそうだと感じました。あのような授業を毎時間することはなかなか難しいのだと思いますが、生徒が授業中に生き生きとした表情を見せられるような授業をしていきたいと改めて思いました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> 導入から現在までよくわかる内容でした。
<ul style="list-style-type: none"> 実際の事例を含めたご講演ありがとうございました。いよいよ、一人1台のパソコンが導入されることになり、どう活用できるか、多くの制約があるなかで悩んでいるところでしたが、いくつかヒントをいただけたと感じています。
<ul style="list-style-type: none"> 教育はこういうものだ、ということを知られた気がします。本当にICT機器を道具として用いながら、生徒たちは自分で進めていく。もちろん教員は生徒にうまく寄り添って教育を実践されていくのだらうと想像します。本日はとても興味深いお話をお聞かせいただくことができました。
<ul style="list-style-type: none"> 「学校は生徒にとって知識にアクセスしにくい場所」というアイロニーは痛烈に響きました。「生徒が学ぶのだから、先生ではなく生徒がしんどい思いをするべき」はもっともで、そのような学びを通して生徒は知的に向上するのを私も高校教師として見てきました。「学ぶべきスキル」を身に付けられれば、知識だけの入試でもしっかりと乗り切っていく力をつけると思っています。
<ul style="list-style-type: none"> 途中でネットが落ちてしまい復帰までに時間がかかり全部聞けなくて残念でたまりませんが、私もMac、iPadでzoomや通信をして年間90コマの講義をやったと終えたところです。最初の方だけでしたが、先生の思いが強く伝わりました。次年度に向けても更なる改善を重ねて頑張っていきたいと思っています。先生のご活躍を遠くから応援しております。
<ul style="list-style-type: none"> ICT推進委員チーフをしております。本校は、本年度休校中の4月からのzoom授業で、直前に偶々整備していたロイロノートに乗せて使用しました。その際には、噂に聞いていた近大附属さんの取り組みを多分に参考にさせていただきましたし、対面授業になっても、当初はオンライン英会話のために整備した100台のレンタルiPadをフル回転して、ロイロを軸とした活用を進めてきました。その流れもあり、来年度からのデジタルデバイス1人1台導入にも、迷わずiPadを選びました。しかし、その中で、私の進みたいデジタルシテズンシップの方向と、罰則規定ありきのモラル教育の姿勢との乖離に悩むことも多く、本日の乾先生のご講演を楽しみにしておりました。今日のお話を聞いて、教員が楽しみながら、失敗を恐れず進める改革が正しいことを再認識させていただきました。確かに、現状ですぐに全てが近大附属さんのような理想的な形にはなりませんが、とにかく大きな流れを作ってやろうという勇気をいただきました。来年度からのiPad活用の軸が見えて来た気がします。推進委員の若手も一緒に聞いておりましたので、彼をはじめ、チームの仲間と共に来年からの改革を推進してゆきたいと思っています。本日は本当に貴重な学びと気づきをいただき、ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> Cの部分ということを私もイメージしていて、参考になりました。
<ul style="list-style-type: none"> iPadの導入により最初の抵抗感はいつの間にか無くなり、教材作成にも特にオンライン授業ではなくてはならないものとなっています。準備には時間がかかりますが、オフライン時での授業導入でも生徒はスクリーンを見て注意して聞く姿勢が見受けられます。彼らにとっては、見慣れたYouTube等の動画と同じ様に捉えている様であれば合点がいくようです。
<ul style="list-style-type: none"> 2013年より1000台規模で導入運用されている成果と発見がよく理解できた。
<ul style="list-style-type: none"> 学生が全員が端末を持つことにより、いかに多彩な学びに繋がるのか認識させられました。
<ul style="list-style-type: none"> 教員のmindsetの再設定が必要。
<ul style="list-style-type: none"> 新しい情報を得ることができました。
<ul style="list-style-type: none"> 途中で退室した。この実践は2013年時点では先進的だっただろうが、昨年の休校以降、ICT活用についてかなり近いレベルの実践をしている高校が増えたように思う。
<ul style="list-style-type: none"> 先駆的取り組みとして非常に参考になった。
<ul style="list-style-type: none"> 本学でもiPadを導入しようと考えております。導入にあたっては、導入することのメリットも含めてプレゼンテーションを行い大学運営陣に認めていただく必要がありますが、先生のお話をお伺いする中で、改めてその必要性や有効性を感じ、頭の中を整理する事ができました。導入にあたっては、様々な準備が必要となりますが、学習を円滑に進めるためのアプリケーションや、大学・教員と学生・保護者を結びつけるための方策などについて積極的に学んでいきたいと思っています。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> 200人の教員の中で進められた胆力に瞠目しています。
<ul style="list-style-type: none"> 非常に高い熱意を持って取り組まれている様子がひしひしと伝わってきました。
11. フォーラム全体についての意見や感想
<ul style="list-style-type: none"> パネルディスカッションまで楽しめました。
<ul style="list-style-type: none"> やりたいことが、さらに増えました。
<ul style="list-style-type: none"> また、機会があれば参加させていただきたいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> いろいろと参考になりました。授業改善のモチベーションが上がりました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> 満足です。
<ul style="list-style-type: none"> 初めて参加しました。オンラインということもあり、参加しやすかったこともあります。また機会があれば参加させていただきたいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> もう一度聞きたい発表であったので、レコーディングした録画を共有いただけると嬉しいです。
<ul style="list-style-type: none"> 今回のコンソーシアム、とても素晴らしかったです。貴重なご講演、ご意見ありがとうございました。

<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい時間をありがとうございました。多くの学びと気づきの詰まった2時間で、あっという間に時間が過ぎました。ぜひまた、企画下さるとありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・後日でもいいので、本日の録画をいただけないでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・金曜夜の開催が有難かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・このような機会を開いてくださりありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・とても参考になり、勉強になりました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・スケールの大きな課題に相応しい内容になりましたね。
<ul style="list-style-type: none"> ・企画内容、運営進行共にすばらしい内容で、参加して良かったと思えました。今回中村伊知哉先生や乾武司先生にご登壇いただくに至った経緯等バックグラウンドも知りたいと思えました。
<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯は厳しいものがありますので再考していただければありがたいです。
<p>12. 次回のフォーラムで取り上げてほしいテーマ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教育現場のみならずDXを社会実装していくための最新事例を取り上げて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業事例について
<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオについて、中等教育・高等教育関係者を交えた議論ができればと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・探究の進め方
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の高大連携のあり方
<ul style="list-style-type: none"> ・STEAM教育、反転授業
<ul style="list-style-type: none"> ・大学教育の今後
<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携の意義について、大学側と高校側の双方がWin-Winの関係となる高大連携とはどのようなものかを、今回のように大学教員と高校教員が語ってくださると嬉しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の近大附属さんのように前近代的な学校教育にパラダイムシフトを起こした実践事例や、大学入試対策とICT推進の両軸の融合など、とにかく先進校のお話を数多く聞きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> ・本テーマより派生してICT利用の高大連携事例について
<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育
<ul style="list-style-type: none"> ・今回のように、熱意を持って先進的な取り組みをされている方々のお話を伺いたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・入試改革と新課程入試